

聳え立つ758mの山、三原山

群青色の海に潜れば、

溶岩によって形成された

巨大なドロップオフにオーバーハング。

東京から2時間弱という近さでありながら、

山も空も海も魚も地形も、

伊豆大島のネイチャースケールはとにかくダイナミック。

大地を踏みしめ、感じながら潜る「ジオダイブ」。

まだ誰も知らない新たなダイビングスタイルが、

今、ここから始まる。

火山の島を潜る！ 伊豆大島 ジオダイブ



- 伊豆諸島
- 利島
- 新島
- 式根島
- 神津島
- 三宅島
- 御蔵島
- 八丈島
- 青ヶ島

Photo: 中村卓哉
 Text & Model: 稲生薫子
 Special Thanks: ミチコちゃん (http://www.seasound.jp/)、
 ケンボダイブ (http://www.seasound.jp/)、
 海人 (http://osima-kind.com/)、
 東海汽船 (http://www.tokaiken.co.jp)

Design: tomato



“ジオ=geo-”とはギリシア語で地球、地理、土地などを表す言葉

南部で



これであたも大島ツウ♪

八咫の巨大なオーバーハング

第23代ミス椿の女王がナビゲート！

こんにちは。第23代伊豆大島観光大使「ミス椿の女王」の稲生薫子です。と、同時にダイバーであり水中レポーターでもある私が今回は大島の南部をナビゲートさせていただきます。大島へかれこれ10回は行ったでしょうか。ミス椿の女王として活動を始めてから知ったこともたくさんあり、今回は海も陸もガッツレポートします！

溶岩でできた「水中アーチ」

南部のメインエリア波浮港からケンボーダイビングの所有するボートに乗って15分。水中に飛び込めば一気にダイナミックな地形、少し進めば巨大アーチが目飛び込んできます。

この巨大アーチも大島の地形や噴火活動が関連して出来たもの。

大島には、水中アーチ形成のストーリーを連想させるジオがそこかしこにあるのです。

伊豆大島、誕生のおはなし

柱状節理や水中アーチ、どうやってできたのか不思議ですよ。大島には、実はこんな歴史があるんです――。

今からおよそ、百万～数十万年前。まだ伊豆大島が誕生する前のこと、大島の東側の海には、岡田火山、行者窟（ぎょうじゃのいわや）火山、筆島火山の3つがありました。この3火山は次第に活動を終え、海水に浸食され小さくなっていきました。

それから月日が経ち、4～5万年前のこと。大島のすぐ近くの海で、新しい噴火活動が始まりました。伊豆大島はその噴き出したマグマによって3つの島が繋がったことで出来た島。

これが、海の上に浮かぶ火山島、伊豆大島の誕生のお話です。

噴火によってできた三原山



八磯の巨大なオーバーハング



噴火で噴き出したマグマは海へと進み、空気に触れやがて海水に浸かり、停止。冷えて固まる際に左右からぎゅっと押され、体積が凝縮されることによって、まるでアコーディオンのようにギザギザに固まります。

このギザギザになった水中の壁がトウシキの「柱状節理の壁」。これらは火山島特有の光景で、なかなか見られるものではありません。

こんな歴史もあって、大島の水中は噴火により流れ出したマグマが形成したダイナミックな地形で溢れ、他にはない“生きている火山”を海からも堪能できるというわけです。

浸食のないところにアーチはできない!? 大島の水中アーチの秘密

01.トウシキの崖の上から眺める夕日は海に沈み、眺めているだけで癒される

火山を潜る! **伊豆大島**・南部で **ジオダイブ**



©ocean+ a ウェブマガジンの二次配付および画像・文章の複製、二次使用を禁じます



Information Link
<http://www.izu-oshima.or.jp>

関連情報HPへ



01



02

- 01. 健坊丸からジャイアントエントリー
- 02. 南部3ショップのガイド大集結!
- 03. マツバギンポ
- 04. オオモンカエルアンコウ

100匹リバーのハンマーヘッドシャーク



ボート
楽しいぜ!



01

壮大なスケールのジオを体感! 伊豆大島のボートダイビング

大島のボートポイントは、伊豆半島のそれとはちょっと雰囲気が違います。

“ここ、どこの海だっけ?”と、一瞬自分がどこで潜っているのかわからなくなるほど、広く、青く、根やアーチ、なにもかもが、とにかく、デカイ!

大島南部で船を持っているダイビングサービスは、「ケンポーダイビング」だけなので、ほとんど誰も大島のボートポイントを潜ったことがありません。

つまり、本当の意味で未開の海が残っていて、潜るとまるで新ポイントでも開拓している気分でした。

水中の凱旋門!? 島民も知らない ボートポイントは「八磯」

ボートに乗って「八磯」というポイントへ向かえば、大島随一の巨大な水中アーチを堪能できます。伊豆の踊子で有名になった「波浮の港」から八磯まではボートで約15分の距離。

エントリーすると、火口のようなすり鉢状の地形が、眼下に広がります。

南国の爽やかなドロップオフとはまた違った、良い意味で伊豆らしい風景。

“なんか出そう”
まさにそんな匂いがブンブンしていました。

トンネルを抜けると、 そこはハンマー祭りだった

なんか出そうな予感的中。パリの凱旋門のように、ドーンと構えている八磯の巨大アーチを抜けた瞬間、カンカンカンカンと必死にタンクを鳴らす音。

見れば、黒い塊・ハンマーヘッドシャークが100匹以上群れを成して移動しています! 大島でハンマーリバーなんて想像してい

なかったのに、身体が勝手にスーパーダッシュをかけている私とカメラマンの中村卓哉さん。

それとは裏腹に「え? ダッシュするの?」と驚きの表情を隠しきれないガイド陣。ボートに戻り、なんですぐに追いかけてなかったんですかと問えば、「だってこの辺り割とハンマーいるからね〜」と。……なるほど、なんて贅沢。

それにしても大島南部でハンマーが出るなんて、あたしゃ聞いていませんでしたよ?(笑) 聞けば、毎年、大島では十数匹~数十匹のハンマーが連日観測できる“ハンマー

祭り”と呼ばれる時期があるのですが、その時の記録を悠に塗り替えるほどの数だったそう。

南部では今季初ハンマーで、しかも100匹以上の大群なのは久しぶりだとのこと、最終的には“全くハンマーを追いかけてなかった”ガイドの3人が一番はしゃいでいましたけどね(笑)

コロケ
うまいか?



04

column * 02

ランチは島民も愛する 鵜飼コロケを

昼は一度波浮港へ。港近くにある、島の子供も大好きなコロケ屋さんでコロケとメンチカツを買い、パンに挟んでランチタイム。この鵜飼商店のコロケは、私自身結構前からお気に入り、今回もぜひ食べたいとリクエストしたんです。こんな島時間体験も、たまにはよくないですか?



05



06

05. 鵜飼商店のコロケを頬張るシーサウンドの小川さん
06. 島民も大好き鵜飼コロケ

火山を潜る! 伊豆大島・南部で ジオダイブ



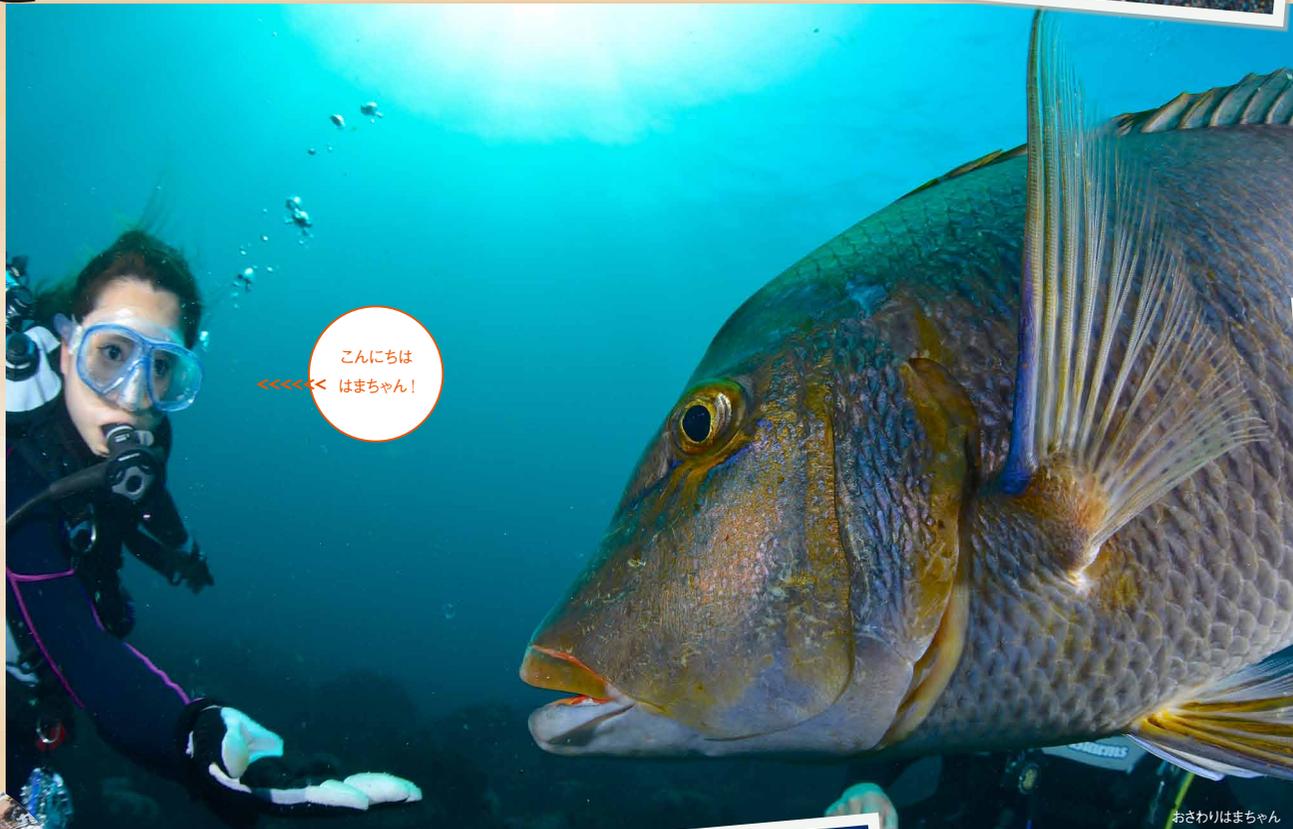
トウシキの海でこんにちは 大島のアイドル魚 “はまちゃん”と その仲間たち

ハマフエフキの「はまちゃん」は大島南部のトウシキに住むアイドル魚。

南部のガイドは、はまちゃんの姿が見えない日には、もしや突きん棒に突かれて死んじゃったのではないかと、我が子並に心配します。

いや、話を聞くと我が子以上に心配しているようでした（我が子は突かれて死にませんからね（笑））。

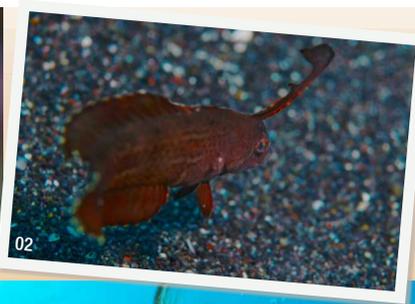
触ったり、レギュレーターから空気をもって遊んだり、一度逢ったらファンになるはまちゃん。島でははまちゃんを守ろうと「ハマフエフキは突かないで」と言い続けた結果、なんと島外のスピアフィッシング愛好家の人までもがルールだててはまちゃんを守っているのだとか。



おさわりはまちゃん



01



02

- 01. ミノウミウシの仲間
- 02. テンスyg
- 03. ミナミハコフグyg
- 04. ヨゴレヘビ（婚姻色）
- 05. キャラメルウミウシ
- 06. ナンヨウツバメウオ
- 07. アオサハギ
- 08. クマノミyg
- 09. はまちゃんとお友達のはこちゃん
- 10. スジタテガミカエルウオ



03



04



05



06

珍しいナンヨウツバメウオに会えてラッキー♪



07



08



09



10

火山を潜る! 伊豆大島・南部で ジオダイブ



©ocean+ a ウェブマガジンの二次配布および画像・文章の複製・二次使用を禁じます



Information Link
<http://www.izu-oshima.or.jp>

関連情報HPへ

第23代伊豆大島観光大使 「ミス椿の女王」オススメ 絶対に訪れるべき 大島の陸ベスト3

島に愛着が湧いてきたところで世代交代になってしまうのはとても寂しいですが、大島のこと、だいぶ詳しくなりましたよ〜。

大島のメインの観光地は、ほとんどが標高300～600m。海に潜ったあとのダイバーにはなかなかハードルの高いところが多いことから、あまりまったことのない方も多いのでは。

かくいう私も、ミス椿の女王として大島に関わる前は、陸の観光にはほとんど行ったことはなかったのですが、実際行ってみると「なんじゃこら〜!」と思わず声を上げてしまう壮大な景色ばかり。

ぜひ、ダイビング+前泊or後泊をして、大島の“ジオ”を陸からも楽しんでほしいです。

1 地層大切断面で歴史を見る

通称バームクーヘンと呼ばれる地層大切断面は、岡田港のちょうど真裏、元町港からは車で南部に向かって15分くらいところに位置します。

カーブを曲がると突如登場するバームクーヘンの存在感はただものではなく、南部にきたらぜひ立ち寄りた場所。



見える地層は約1万5千年～2万年前のもので、オススメは夕日の時間帯。中村カメラマンも「絶対に夕日の時間に撮影したい」とこだわり、ほぼ毎日夕日の時間に撮影をトライ。

黄金色に輝く地層は迫力もさながら、やはりバームクーヘンという愛称だけあって美味しそうにさえ見えるのです。

2 カメラとコロッケを片手に波浮港を散策

南部のポートダイビングの出発地点でもある波浮港。漁協の前を通り過ぎるとのど自慢で鳴らすような鐘が登場。端から叩けば昭和初期の歌謡曲「波浮の港」が演奏でき、その風情ある音色は湾一帯に響き渡ります。鐘を右手に一本奥へと足を進めれば、島民も愛する鵜飼コロッケの暖簾が

- 01. 南部を代表する波浮港の夜景。ビールを片手に語らうのに最高〜♪
- 02. トロが出てきそうだから「トロの道」。通称「切り通し」
- 03. 大島唯一の酒蔵「谷口酒造」の御神火焼酎。古くから三原山のことを御神火と呼びます
- 04. 地層大切断面の夕暮れ。金色が本当にバームクーヘン



02

揺れ、その右奥の階段を登れば伊豆の踊子でも知られる「みなと旅館」が無料開放されています。

そうそう、波浮港に行ったらぜひ訪れて欲しいのが「港鮭」。深海魚のなわきりのお寿司を始めとした大島の絶品寿司ランチが手軽に楽しめます! 人気店なので予約しても良いかも。

3 裏砂漠で日本唯一の“砂漠”を体験

“日本唯一の砂漠は大島にある”って知っていましたか?

砂漠といっても一面に広がるのは、火山噴出物の一種の「スコリア」。

裏砂漠の景色は壮大で一度は絶対みてほしい景色です。ただ、標高が高いため夏でも冷え、なにより風の強い島なので、裏砂漠に行くときには、短いひらひらスカートはやめた方が良いでしょう。(え? 教えない方がよかったって? (笑))



03



04

- 05. 港鮭定番メニュー、おまかせ握り
- 06. 港鮭のおまかせ握りでは、なわきりが食べられます〜!
- 07. 鵜飼コロッケの看板。私はメンチカツがお気に入り
- 08. 裏砂漠でスコリアを体験。真っ黒い軽石みたい



05



07



06

これがスコリア。三原山が噴火した際に飛び出て冷却されてできる岩塊で、砂というよりは真っ黒い小粒の石



08

火山を潜る! 伊豆大島・南部で ジオダイブ



01



02



03

01. 地層大切断面、通称：バームクーヘンの前で
 02. 噴火の際、マグマが飛んできたことで形成されたボムサックの上で
 03. 砂の浜。真っ黒い砂が水を浄化してくれます。だから大島の水は綺麗なんですよー!

南部ガイドが選ぶ！

“陸のベストポイント”と“絶対！食べるべきスローフード”

南部のガイドは皆、大島公認のネイチャーガイドの資格も持つ陸のエキスパート。海だけでなく陸のガイドもおまかせです。ということで、そんなネイチャーガイドが選ぶ大島で一番好きな、NO.1陸ポイントを聞いてみました。

「バームクーヘン」が大好き

byシーサウンド 小川修作

平日頃から見ているこのジオ風景ですが、「行きと帰り」「時間帯」「天候」とその時の状況によって全く違った風景に見えます。海側を見れば伊豆諸島が、山側を見れば2万年の歴史のある地層大切断面。

お客様ごとにリアクションが変わるので、毎回わくわくしながらこの前を通っています。え？名前が美味しそうだから好きなんじゃないのって？ うーん、それもあるかも(笑)

噴石が見られるボムサック！

byケンボーダイビング 佐藤健治

波浮港もお気に入りですが、今回はボムサックをご紹介します。

ムサックをご紹介します。

ボムサックは一見目立たない存在ですが波浮港が噴火した時の噴石が未だに見られ、残されている所です。

看板だけでは理解しにくい所もありますが、ガイドの説明をきけば、非条に分かりやすく、その時の噴火の状況が理解でき、そこに価値が見出せると思います。

なので、僕の開催しているネイチャーツアーにぜひ参加してくださいね～！(笑)

大島と言えば黒砂ビーチ！「砂の浜」が一番！

by海人 浅見勉

絶対、砂の浜！全長1kmの海岸が広がる大島で一番大きいビーチです。

一言で言うと、超~~~~気持ちの良

い空間！個人的には“ベストヒーリングスポット”。この僕の笑顔できっとわかってもらえますよね？(笑)

「晴れた日、波打ち際まで歩いて目を閉じれば、太陽の暖かさを肌で感じ、耳からは波しぶきの音が入ってきます。

初夏にはカメが産卵し、波の動きがゆるぐのを眺めていれば、いつまでたっても飽きません。

季節によっては水平線に沈む夕日が見える日も。」(ポエマー、浅見勉でした！)

食べ物は、やっぱり、お寿司と牛乳でしょ～

by全員一致

旅は美味しくなくちゃ始まらないですよ(笑) 大島には“べっこう寿司”というのがあり、



05



04

04. 南部の寿司や大関
 05. きらきら〜!!口の中でとろけます。大トロ取り合って中村カメラマンとじゃんけんしました(笑)
 06. 大島牛乳アイス

特産品でもある濃厚な大島牛乳を使用した大島牛乳アイスも大好き♡



06

火山を潜る! 伊豆大島・南部で ジオダイブ



©ocean+ a ウェブマガジンの二次配布および画像・文章の複製、二次使用を禁じます



Information Link
<http://www.izu-oshima.or.jp>

関連情報HPへ

伊豆大島南部の ダイビングサービスはここだ!

伊豆大島には、ダイビングサービスは全部で28軒(2015.3現在)ありますが、南部でガイドサービスを行っているはそのうち3軒のみ。でも、その分団結力がすごいんです。

1年間
ありがとうございます
ました〜月



この3ショップ、それぞれ個性豊かで全然雰囲気も違うのに、とっても仲良し！
ショップの色も、人の色も違えど、全員が大島公認のネイチャーガイドでもあるほど大島が好き、南部が好きという根底にある想いは全く同じ。

取材していて本当に楽しく過ごせたのは、海や陸が面白いからだけではなく、人柄も良かったからだ強く感じました。

1年間ミス椿の女王として大島に関わらせてもらいましたが、任期中に大島で取材が出来て、また、ミス椿の女王コンテストの時に「海からも大島の魅力を発信していきます！」と公約で述べたのが実現できて、私自身とても嬉しく思っています。

大島のみなさん本当にありがとうございました、また近いうちに来ますね、今度は遊びで〜♪

Divling Shop

シーサウンド

www.seasound.jp

ケンボーダイビング

kenbo-diving.com

海人(カインド)

osima-kind.com

Hotel

シークリフ

www.seacliff.jp

新店舗が2015年1月にオープン!
ピカピカのシーサウンドへおいでませ

大島唯一ボートダイビングができる
ケンボーダイビングへおいでませ!

あさみ&海人へ、
クセになるうどんを食べにおいでませ!

大人数なら、
シークリフへおいでませ!



カレー南蛮うどん
は一度食べたら
クセになるので
ご注意ください



アハハハハハ!と笑うその顔にファンも多い、シーサウンドのオーナーは小川修作さん。

2015年1月に店舗を新たにし、パワー全開。海の中でも、次から次へと面白い話題を持ってきてくれます。

シーサウンドでは、“伊豆大島での滞在すべて”が印象に残るようなおもてなし心がけられています!

伊豆大島らしい“ジオ風景”を噛み締めながら、伊豆大島ならではの海中地形とそこに棲む生き物たちを観察する。これこそ、伊豆大島でしか出来ないダイビングスタイルだと思っています!皆さんのお越しをおまちしています!~!!

01.シーサウンドのダイビングショップ

02.シーサウンドの新しい宿泊部屋。お布団も全部新しいよ〜と小川さん

ケンボーダイビングのオーナー佐藤健治さん、実は大島観光協会の現・副会長なんです。なので、東海汽船の船中で偶然会った時には、今日はダイビング?ミス椿?なんて会話になりました。

ケンボーダイビングは、伊豆大島でも南部ポイント「トウシキ」をメインに潜っています。初心者から上級者までスキルにあったガイドを提供しておりますので、プランクダイバーの方も安心してお越しください。

ボートダイビングならケンボーダイビングへ!お問い合わせなどお気軽にどうぞ〜ご連絡をお待ちしています!

03.ケンボーダイビングの看板は木彫りでおしゃれ

04.ケンボーダイビングのショップ室内

ダイビングサービス「海人」は、うどん屋あさみも経営している民宿。ダイビングも、宿泊も食事も全てが1つ屋根の下に収まっています。

海のコンディションが良ければ、大島南北、各ポイントを潜ってポイントの違いも楽しめるようにガイドしています。

ビギナーの方には無理せずゆっくり潜り、慣れた方にはダイナミックな地形&流れも楽しめるよう、レベルに応じたガイドを心がけています。ぜひ、自然いっぱいの大島を楽しんで、海人に遊びにいらしてください!!

05.海人の公共の遊び場。ビリヤード

06.部屋は畳でのんびりくつろげます

南部の宿泊施設で一際大きいホテル・シークリフ。タンクの充填施設、器材洗い場も完備され、ダイバーには嬉しい要素が満載!

さらに、南部を代表する波浮港の見晴台までも歩いて5分圏内と、好立地。

ビールを片手に見晴台から波浮の港がライトアップされているのを見るのが好きで、取材中は何度か足を運びました。

07.シークリフの外観。団体でも泊れます

08.清潔感もあり、広さもOK



火山を潜る! 伊豆大島・南部で ジオダイブ



©ocean+ a ウェブマガジンの二次配布および画像・文章の複製、二次使用を禁じます



Information Link
http://www.izu-oshima.or.jp

関連情報HPへ